

# 2016年3月期 第3四半期決算報告

2016/2/12

第一生命保険株式会社

一生涯のパートナー

**第一生命**

- 当第3四半期累計の連結業績は、増収・増益。プロテクティブの業績の取込みに加え、第一フロンティア生命の収支改善が主な要因。第一生命もヘッジ外債の積み増し等により高い利回りを確保し、順ぎやを拡大。  
連結純利益(親会社株主に帰属する純利益)は通期予想を上回る進捗。
- 国内の保険販売が堅調に推移したほか、オーストラリアのTALが団体保険事業で大型の契約を獲得したこともあり、新契約・保有契約は大幅な成長を達成。また、プロテクティブが定期保険ブロックの買収を完了するなど、第一生命グループのグローバルな事業分散がさらに加速。
- 2015年12月末のグループ・エンベデッド・バリュー(試算値)は、9月末比で増加し、約5.7兆円。これまでのALMの取組や新契約の獲得等により、低金利環境下にあってもEEVが増加。

- 子会社業績の貢献により、連結経常収益・連結経常利益・連結純利益<sup>(1)</sup>ともに前年同期比で増加

(億円)

	15/3期 3Q累計	16/3期 3Q累計(a)	前年同期比	
			増減	増減率
連結経常収益	53,499	54,189	+690	+1%
第一生命単体	34,588	31,038	△3,550	△10%
連結経常利益	2,865	3,247	+381	+13%
第一生命単体	2,803	2,367	△436	△16%
連結純利益 <sup>(1)</sup>	1,317	1,735	+418	+32%
第一生命単体	1,313	1,055	△257	△20%

<参考>

2015/11/13 発表予想(b)	進捗率(a/b)
	進捗率(a/b)
70,960	76%
42,010	74%
3,690	88%
3,010	79%
1,610	108%
1,190	89%

(1) 連結純利益は、親会社株主に帰属する四半期純利益を記載しています。

## ■ プロテクトティブ社の業績の取込みに加え、第一フロンティア生命の収支改善が連結業績に貢献

### 連結損益計算書 (要約)<sup>(1)</sup>

(億円)

	15/3期 3Q累計	16/3期 3Q累計	増減
経常収益	53,499	54,189	+690
保険料等収入	39,460	41,663	+2,203
資産運用収益	11,424	9,814	△1,610
うち利息・配当金等収入	6,273	7,892	+1,619
うち有価証券売却益	1,429	1,614	+184
うち特別勘定資産運用益	3,191	-	△3,191
その他経常収益	2,613	2,711	+97
経常費用	50,633	50,942	+308
うち保険金等支払金	24,800	28,763	+3,963
うち責任準備金等繰入額	17,421	10,569	△6,851
うち資産運用費用	1,009	3,837	+2,828
うち有価証券売却損	200	445	+245
うち有価証券評価損	5	32	+26
うち金融派生商品費用	292	452	+159
うち特別勘定資産運用損	-	509	+509
うち事業費	4,142	4,855	+712
経常利益	2,865	3,247	+381
特別利益	31	2	△29
特別損失	197	175	△22
契約者配当準備金繰入額	784	722	△61
税金等調整前四半期純利益	1,915	2,351	+435
法人税等合計	597	615	+17
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,317	1,735	+418

### 連結貸借対照表 (要約)

(億円)

	15/3末	15/12末	増減
資産の部合計	498,372	501,297	+2,925
うち現預金・コール	12,538	11,470	△1,067
うち買入金銭債権	2,658	2,466	△191
うち有価証券	411,054	416,784	+5,730
うち貸付金	38,981	37,538	△1,443
うち有形固定資産	12,170	12,091	△78
うち繰延税金資産	13	11	△2
負債の部合計	462,472	469,268	+6,796
うち保険契約準備金	425,470	434,618	+9,148
うち責任準備金	416,347	425,477	+9,130
うち退職給付に係る負債	3,313	3,371	+57
うち価格変動準備金	1,362	1,503	+140
うち繰延税金負債	6,433	4,170	△2,263
純資産の部合計	35,899	32,028	△3,870
うち株主資本合計	10,296	11,404	+1,108
うちその他の包括利益累計額合計	25,594	20,614	△4,980
うちその他有価証券評価差額金	25,282	20,419	△4,863
うち土地再評価差額金	△334	△350	△16

(1) 特別勘定資産運用損益は、責任準備金の戻入れ/繰入れで相殺されるため、経常利益に影響するものではありません。

# 第一生命グループ業績 - グループ各社の業績

一生涯のパートナー

第一生命

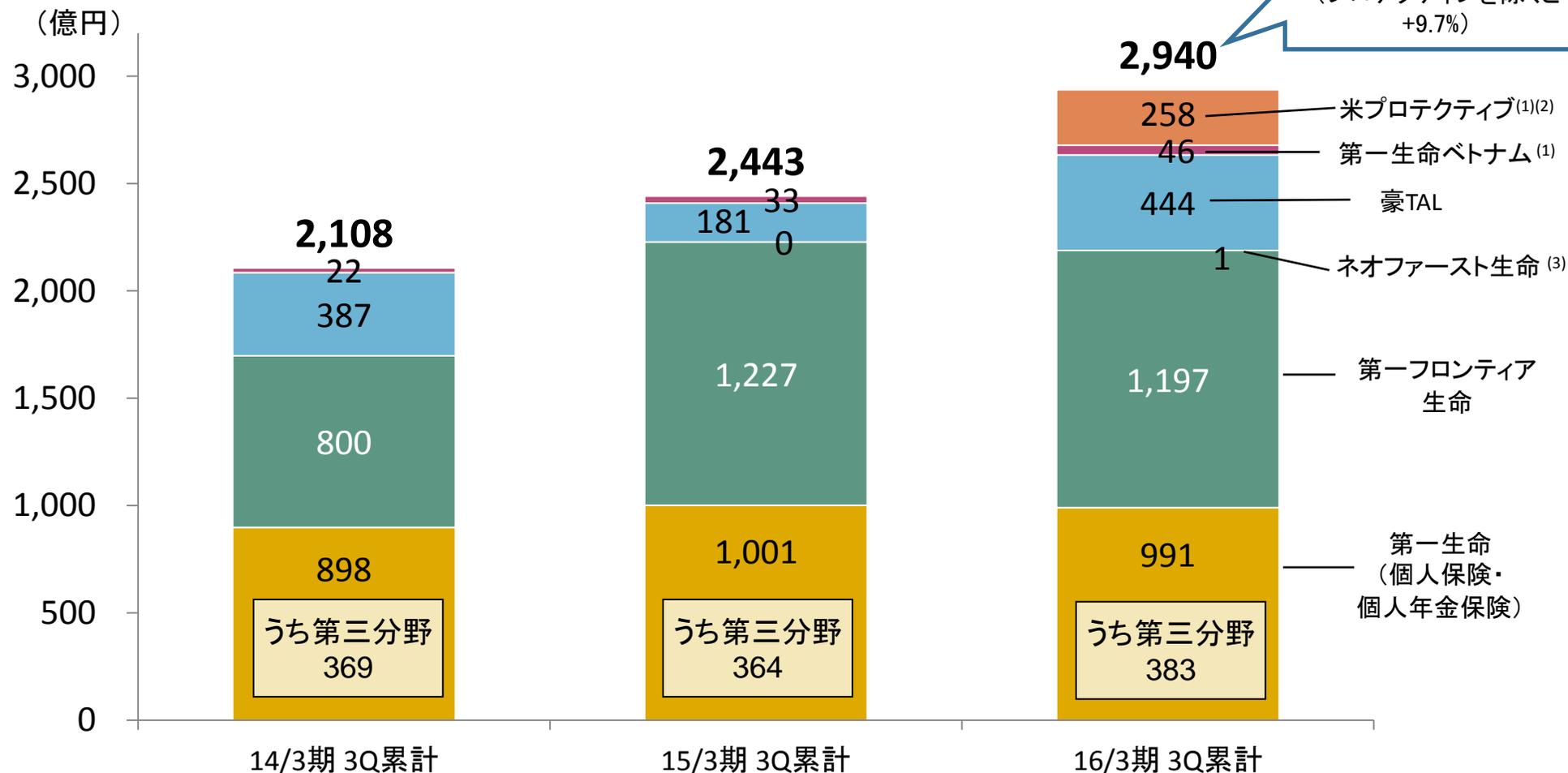
	【第一生命】 (億円)			【第一フロンティア生命】 (億円)			【米プロテクトティブ】 <sup>(1)(2)</sup> (百万米ドル)			【豪TAL】 <sup>(2)</sup> (百万豪ドル)			【連結】 (億円)		
	15/3期 3Q累計	16/3期 3Q累計	前年 同期比	15/3期 3Q累計	16/3期 3Q累計	前年 同期比	---	16/3期 3Q累計	前年 同期比	15/3期 3Q累計	16/3期 3Q累計	前年 同期比	15/3期 3Q累計	16/3期 3Q累計	前年 同期比
経常収益	34,588	31,038	△10%	16,877	15,203	△10%	--	4,910	--	2,362	2,378	+1%	53,499	54,189	+1%
保険料等収入	23,166	21,009	△9%	14,185	14,517	+2%	--	3,373	--	2,067	2,229	+8%	39,460	41,663	+6%
資産運用収益	8,852	7,786	△12%	2,692	685	△75%	--	1,247	--	193	21	△89%	11,424	9,814	△14%
経常費用	31,785	28,671	△10%	16,953	14,704	△13%	--	4,633	--	2,212	2,249	+2%	50,633	50,942	+1%
保険金等支払金	19,797	20,060	+1%	3,677	3,942	+7%	--	2,910	--	1,355	1,440	+6%	24,800	28,763	+16%
責任準備金等繰入額	4,800	1,318	△73%	12,421	8,505	△32%	--	464	--	313	220	△30%	17,421	10,569	△39%
資産運用費用	1,201	1,796	+50%	71	1,427	+1,886%	--	605	--	28	47	+67%	1,009	3,837	+280%
事業費	2,926	2,959	+1%	703	743	+6%	--	498	--	433	459	+6%	4,142	4,855	+17%
経常利益(△は損失)	2,803	2,367	△16%	△75	498	--	--	276	--	150	128	△14%	2,865	3,247	+13%
特別利益	29	2	△93%	--	--	--	--	0	--	--	--	--	31	2	△93%
特別損失	183	154	△16%	14	20	+48%	--	--	--	--	0	--	197	175	△11%
純利益(△は損失) <sup>(3)</sup>	1,313	1,055	△20%	△90	434	--	--	187	--	109	99	△9%	1,317	1,735	+32%

(1) 米プロテクトティブの数値は、2015年2-9月の実績です。

(2) 米プロテクトティブおよび豪TALの数値は、各国の会計基準で作成した財務諸表を、当社の開示基準に準じて組み替えた上で開示しています。連結の際には、それぞれ1米ドル=119.96円、1豪ドル=98.07円(15/3期3Q)、87.92円(16/3期3Q)で円換算しています。

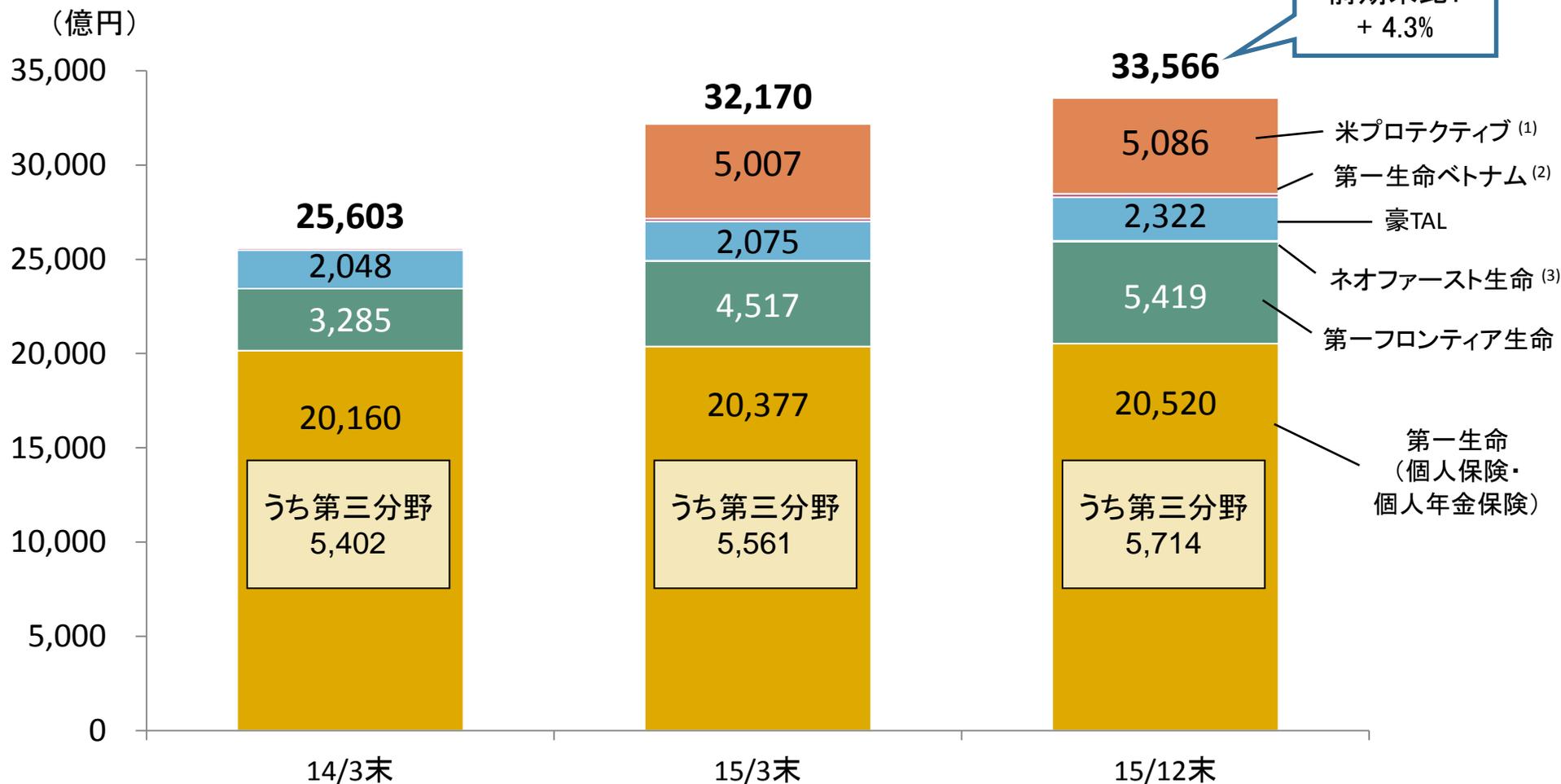
(3) 連結純利益は、親会社株主に帰属する四半期純利益を記載しています。

## 第一生命グループの新契約年換算保険料



(1) 米プロテクトィブ、第一生命ベトナムの決算日は12月31日です。  
 (2) 米プロテクトィブの実績は、16/3期 3Q累計のみを記載しています。  
 (3) ネオファースト生命の実績は15/3期7-12月、16/3期3Q累計のみを記載しています。

## 第一生命グループの保有契約年換算保険料



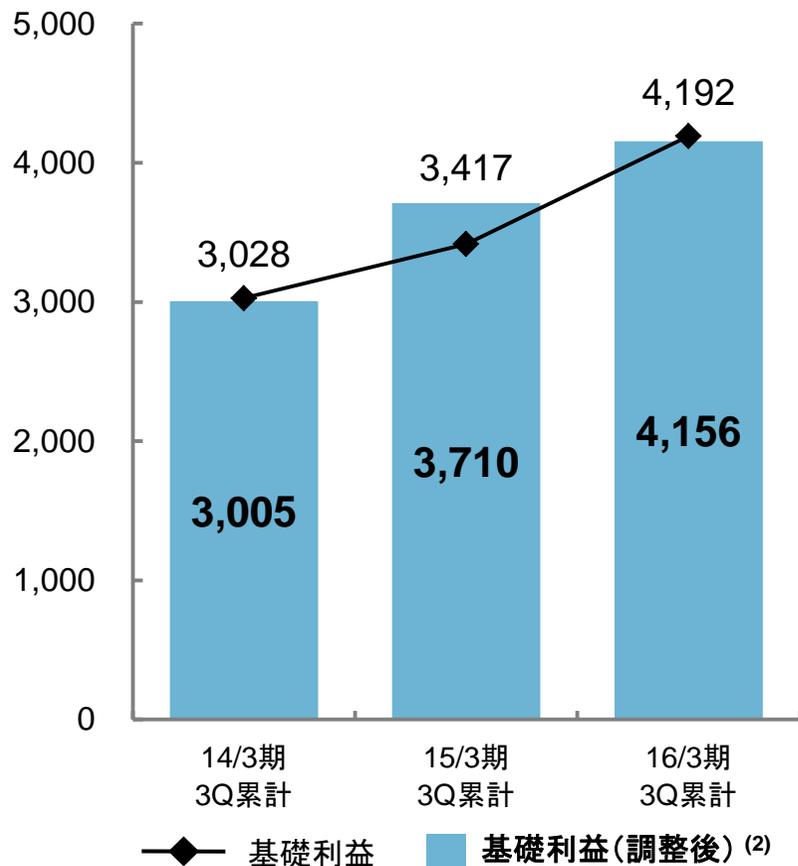
(1) 米プロテクティブの決算日は12月31日です。15/3末の実績は完全子会社化(2015年2月1日)時点の数値を記載しています。

(2) 第一生命ベトナムの決算日は12月31日です。14/3末、15/3末、15/12末の実績はそれぞれ108億円、155億円、179億円です。

(3) ネオファースト生命については、完全子会社化以降の実績を記載しています。15/3末、15/12末の実績は、それぞれ37億円、37億円です。

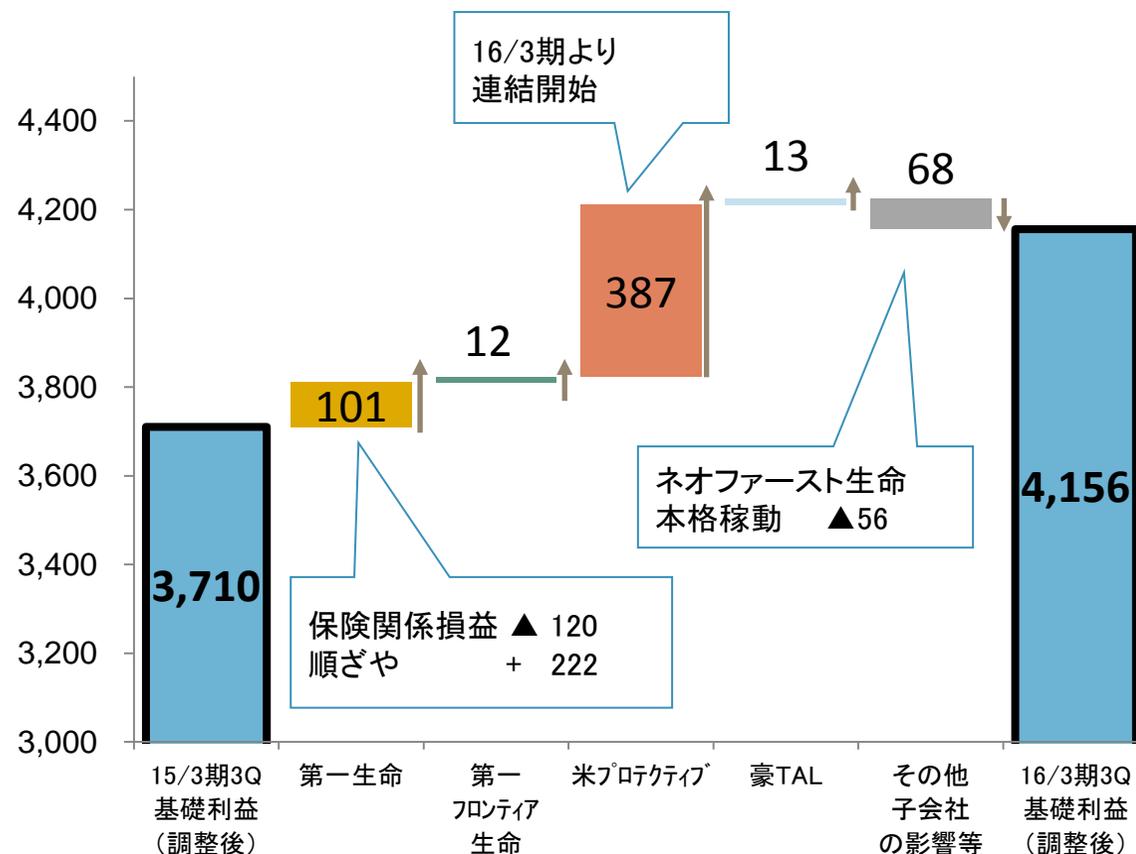
## 基礎利益 (1)(2)

(億円)



## 基礎利益(調整後)の変動要因 (1)(2)

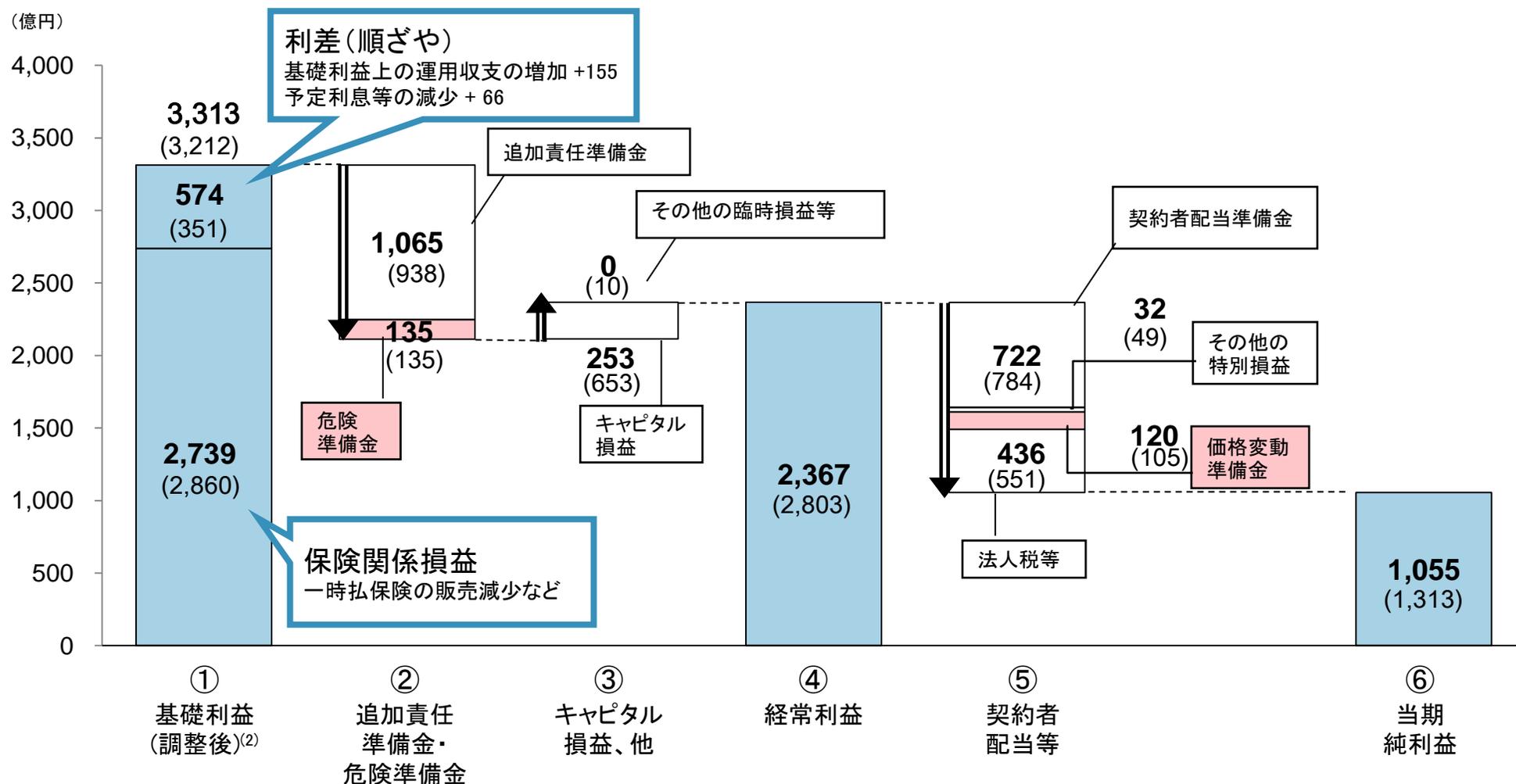
(億円)



(1) 第一生命、第一フロンティア生命、ネオファースト生命(15/3期7-12月、16/3期3Qのみ)の基礎利益、米プロテクトティブ(16/3期3Qのみ)の税引前営業利益、TALの修正利益(税引前換算)、第一生命ベトナムの税引前利益を合算し、第一生命グループ内の内部取引の一部を相殺。

(2) 基礎利益(調整後) = 基礎利益 ± 変額保険の最低保証リスクに係る責任準備金繰入(戻入)額 ± 定額保険の市場価格調整に係る責任準備金繰入(戻入)額。ただし、市場価格調整(MVA)に係る責任準備金繰入/戻入のうち、為替差損益勘定で相殺され、経常利益に影響を及ぼさない部分を除く

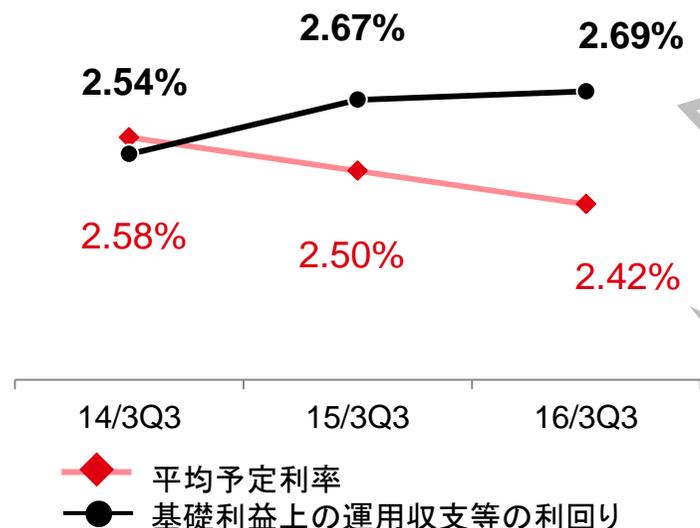
# 第一生命単体業績 - 当期純利益の状況<sup>(1)</sup>



(1) 前年同期の数値を( )内に記載しています。

(2) 基礎利益(調整後) = 基礎利益 ± 変額保険の最低保証リスクに係る責任準備金繰入(戻入)額 ± 定額保険の市場価格調整に係る責任準備金繰入(戻入)額

## 予定利率と基礎利回り



- 超低金利が継続する中であっても、ヘッジ外債の積み増し等により高い利回りを確保し、**順ざやが拡大**（前年同期比）
- 円建確定利付き資産<sup>(1)</sup>のデュレーションは14年台半ば

利息及び配当金等収入の内訳(16/3Q3)



- 追加責任準備金の新規繰入れと、金利動向を踏まえた予定利率の設定により、平均**予定利率は下降トレンドを維持**

## 追加責任準備金 新規繰入額<sup>(2)</sup>

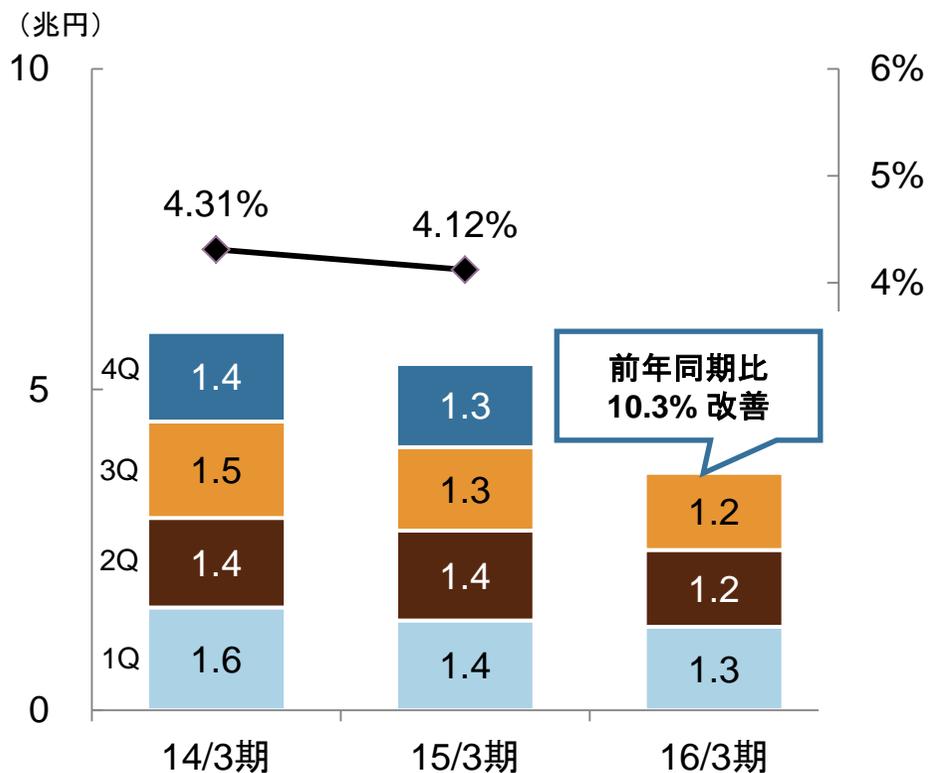


- 順ざやを踏まえ、マイナス金利となった現時点においても、追加責任準備金の繰入**計画に変更の予定は無い**

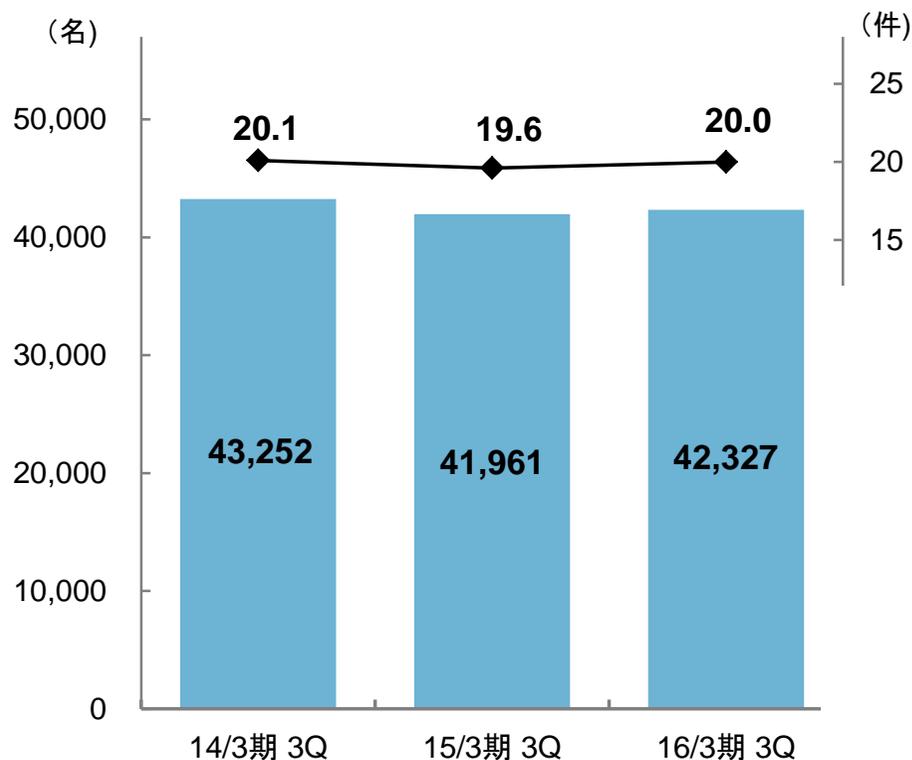
(1) 個人保険・個人年金にかかる円建の確定利付き資産の数値を記載

(2) 1996年3月以前加入の終身保険のうち、払込満了後契約を対象とした金額を記載

## 解約失効高(個人保険・個人年金)



## 営業職員数および生産性 (1)(2)



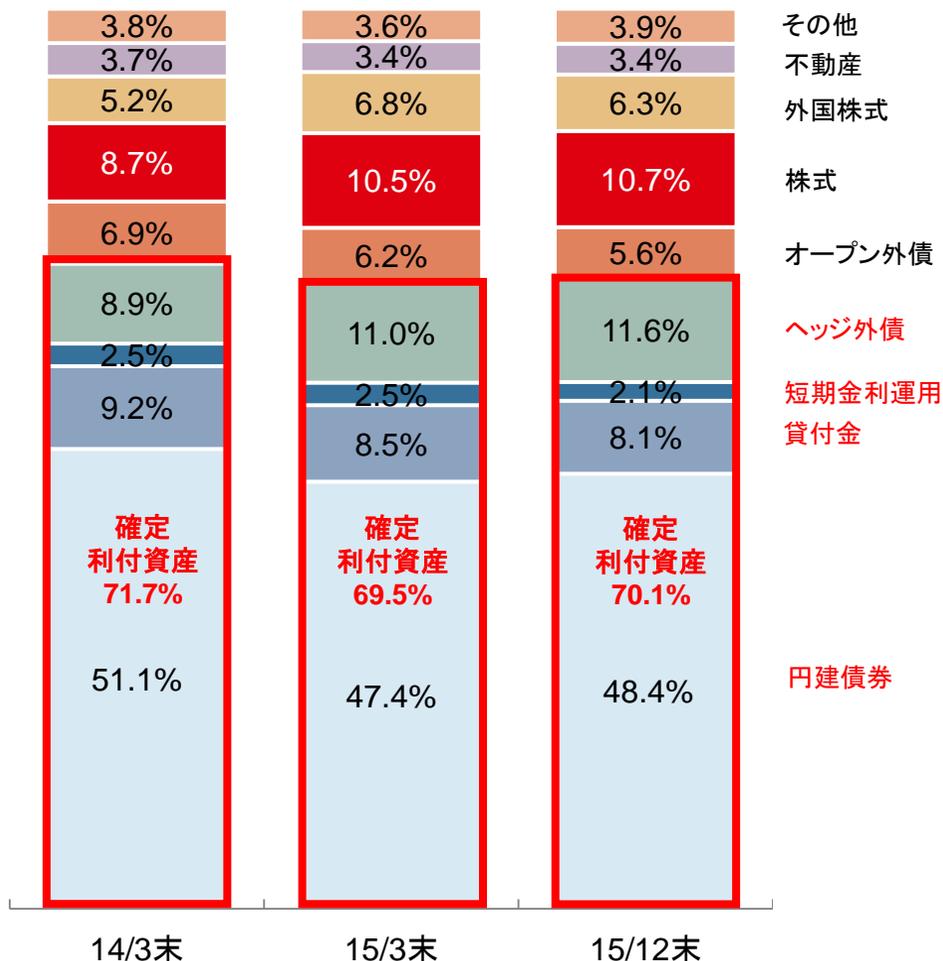
◆ 解約失効率(右軸)

■ 営業職員数

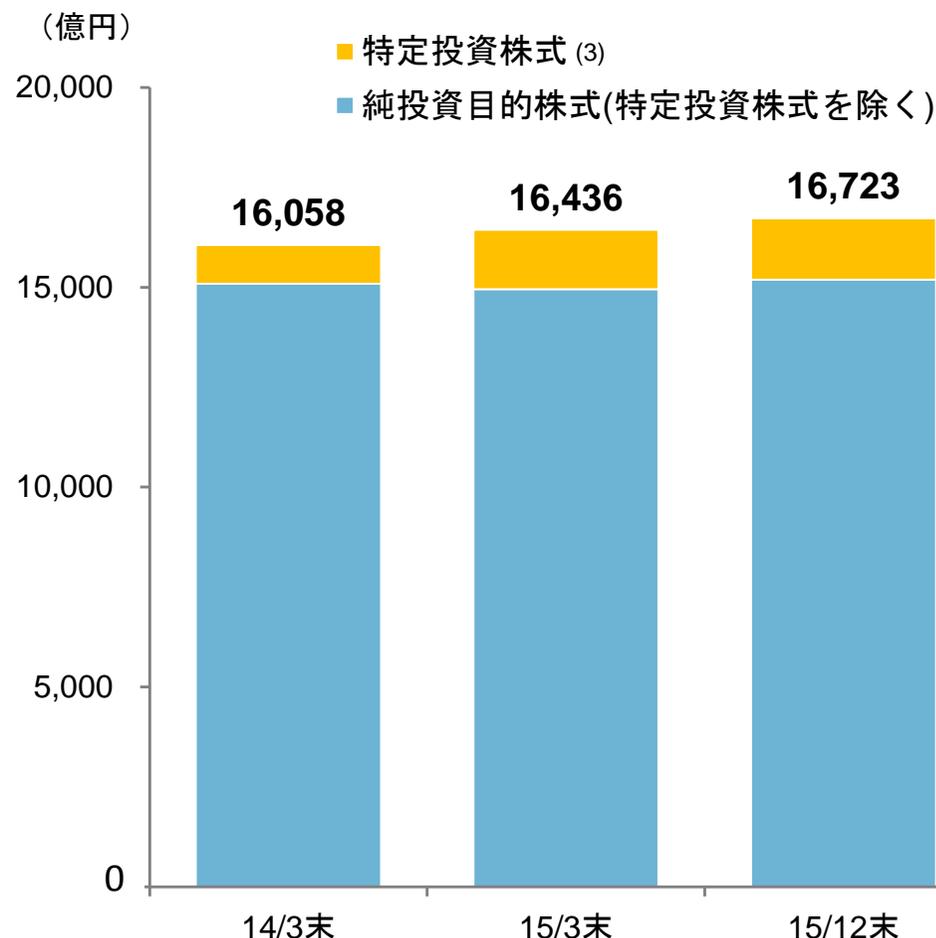
◆ 一人あたり新契約件数(右軸)

- (1) 営業職員については、第一生命と委任契約を締結しかつ生命保険募集人登録をしている者のうち、その他補助的業務に従事する者を除いております。  
 (2) 各期間における新契約件数(転換含む)を分子、各期間の営業職員数(補助的業務に従事する者を除く)の平均値を分母として計算しています。

## 資産の構成(一般勘定) (1)



## 国内株式の簿価 (2)



(1) 貸借対照表価額ベース

(2) 国内株式のうち時価のあるもの(子会社・関連会社株式、非上場国内株式は除く)。

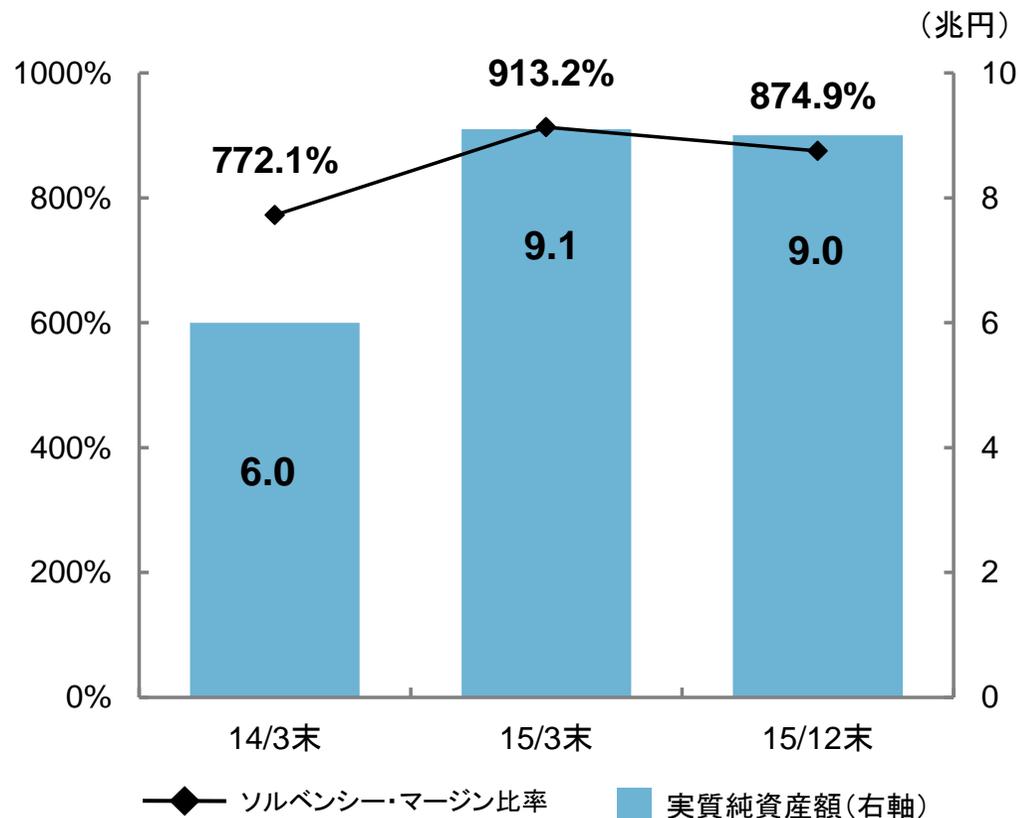
(3) 純投資目的以外の目的で保有する株式(非上場国内株式、みなし保有株式は除く)。

## 含み損益(一般勘定)

(億円)

	15/3末	15/12末	増減
有価証券	54,917	52,480	△2,436
国内債券	22,368	25,464	+3,096
国内株式	17,856	17,427	△428
外国債券	10,116	6,422	△3,694
外国株式	3,892	2,741	△1,150
不動産	755	973	+217
その他共計	55,507	53,321	△2,185

## ソルベンシー・マージン比率および実質純資産額



<参考> 連結ソルベンシー・マージン比率:  
2015年12月末 768.2%

## 収支の状況

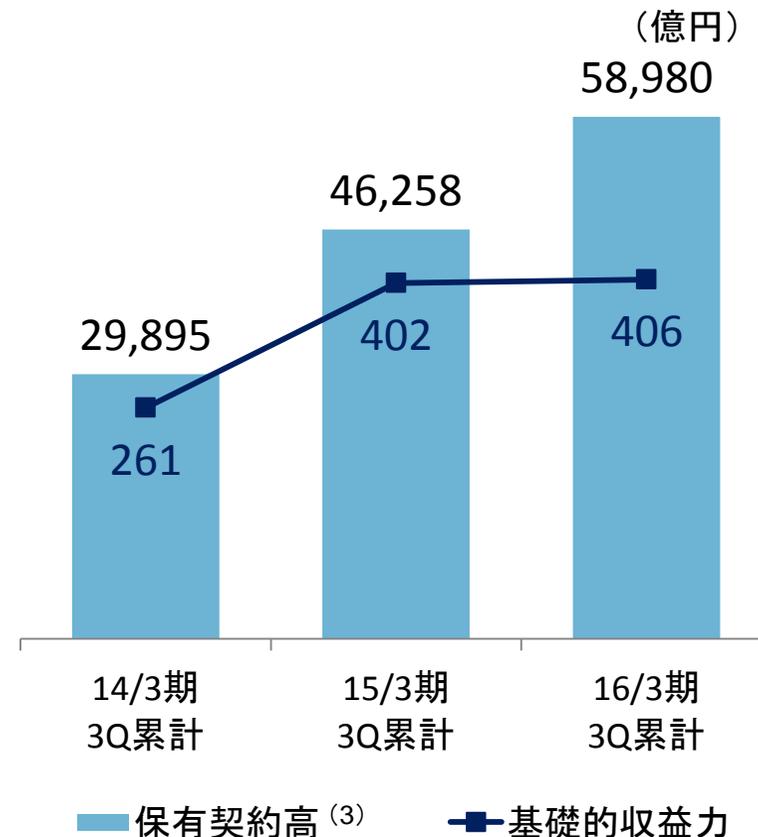
(億円)

	15/3期 3Q累計	16/3期 3Q累計
経常収益	16,877	15,203
うち保険料等収入 (1)	14,185	14,517
うち変額商品	1,458	1,278
うち円建定額商品	2,164	2,550
うち外貨建定額商品	9,187	9,153
うち資産運用収益	2,692	685
うち最低保証リスクに対するヘッジ利益(A)	-	-
経常費用	16,953	14,704
うち責任準備金等繰入額(△は戻入)	12,421	8,505
うち最低保証リスクに係る責任準備金繰入額(B)	26	167
うち市場価格調整(MVA)に係る責任準備金繰入額(C) (2)	274	△ 198
うち危険準備金繰入額(D)	133	△ 53
うち資産運用費用	71	1,427
うち最低保証リスクに対するヘッジ損失(E)	58	57
経常利益(△は損失)	△ 75	498
純利益(△は損失)	△ 90	434
純利益 - (A) + (B) + (C) + (D) + (E)	402	406

- (1) 定額部分と変額部分を組み合わせさせた商品は定額商品に分類  
 (2) 市場価格調整(MVA)に係る責任準備金繰入/戻入のうち、為替差損益勘定で相殺されて、経常利益に影響を及ぼさない部分を除く

## 保有契約高と基礎的収益力

(億円)



- (3) 保有契約高は各期間の末日時点

- 危険差益、運用収益が良好に推移し、税引前営業利益は約322百万ドル、純利益は約187百万ドルと、予算超過ペース。
- ジェンワース・フィナンシャル社の傘下の保険会社が保有する定期保険ブロックの買収を1月に完了。同ブロックは2017年3月期から連結利益への貢献を開始。

## 主要業績

(百万米ドル)

	16/3期 3Q累計
生保事業	29.6
買収事業	132.9
年金事業	133.3
ステーブルバリュース事業	28.2
アセットプロテクション事業	15.2
コーポレート	△ 16.8
税引前営業利益 Pre-tax Operating Earnings	322.6
キャピタル損益(運用収支)	△ 150.0
キャピタル損益(金融派生商品損益)	104.3
法人税等	△ 89.8
当期利益	187.1

### <参考>

	15/9末
為替レート(米ドル)	119.96

## セグメント業績動向

### 【生保事業】

一時的な支出の増加と想定以上の解約などにより、営業利益は予算未達ペース。

### 【買収事業】

想定以上の危険差益があり、営業利益は予算超過ペース。

### 【年金事業】

定額年金における想定以上の運用収益と危険差益により、営業利益はわずかに予算超過ペース。

### 【ステーブルバリュース事業】

利差益の拡大により、営業利益は予算超過ペース。

### 【アセットプロテクション事業】

主力損保商品(主に車両保険)の好調な販売により、営業利益は予算超過ペース。

(1) 米プロテクトティブの決算日は12月31日です。16/3期3Qの実績は、子会社化(2015年2月1日)以降、同年9月までの8ヶ月間の実績です。  
 (2) 税引前営業利益(Pre-tax Operating Earnings)とは、当期利益から資産運用やデリバティブにおけるキャピタル損益を控除した利益指標です。

## 主要業績

(百万豪ドル)

	15/3期 3Q累計	16/3期 3Q累計	前年 同期比
経常収益 (2)	2,362	2,378	+1%
うち保険料等収入 (2)	2,067	2,229	+8%
経常利益 (2)	150	128	△14%
純利益(A) (2)	109	99	△9%
修正額(B)	6	40	
うち負債割引率の変化	△ 20	2	
うち償却負担	16	15	
その他	11	23	
修正利益=(A)+(B) (Underlying profit)	116	140	+21%

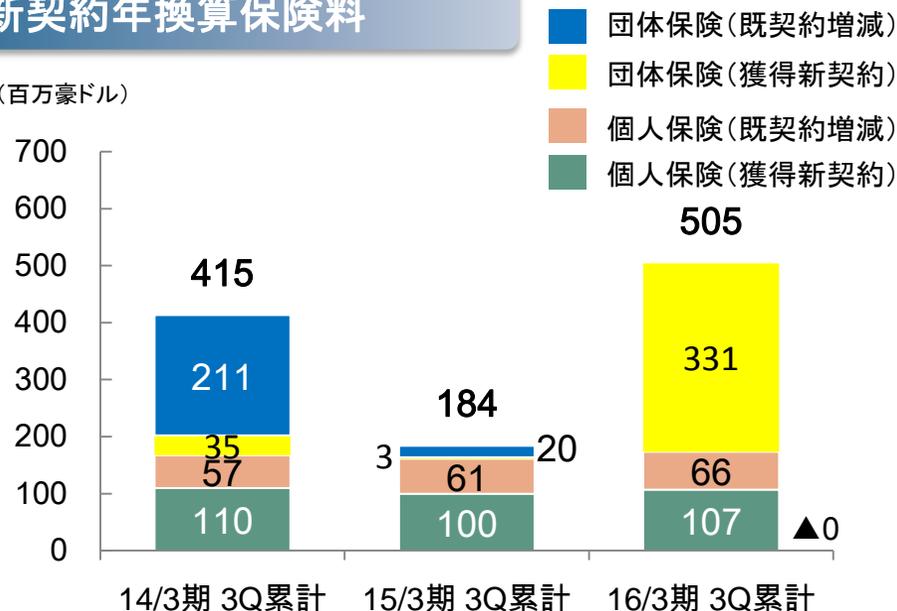
<参考>

	14/12末	15/12末
為替レート(豪ドル)	98.07円	87.92円

- (1) 連結対象の豪持株会社(TAL Dai-ichi Life Australia Pty Ltd)に係る数値  
 (2) オーストラリアの会計基準で作成した財務諸表を、当社の開示基準に準じて組み替えた上で開示しております(修正額及び修正利益を除く)

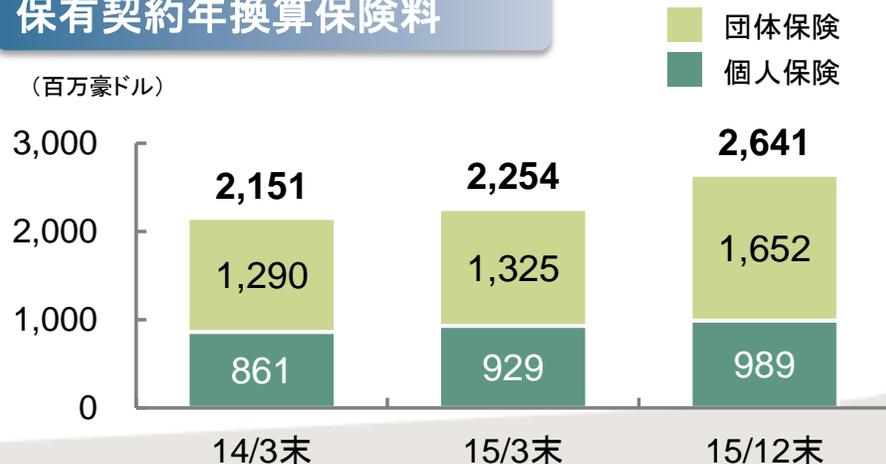
## 新契約年換算保険料

(百万豪ドル)



## 保有契約年換算保険料

(百万豪ドル)



- 11月に発表した修正予想に対して高い進捗。特に連結純利益<sup>(1)</sup>は通期予想を上回る進捗。
- 第4四半期には法人実効税率の引き下げに伴う繰延税金資産の取り崩しが見込まれることに加え、足もとの金融市場環境を踏まえ、予想を据置き。

(億円)

	15/3期	16/3期(予) ※2015/11/13 発表予想	増減
<b>連結経常収益</b>	<b>72,522</b>	<b>70,960</b>	<b>△ 1,562</b>
第一生命単体	47,984	42,010	△ 5,974
第一フロンティア	21,575	16,770	△ 4,805
プロテクティブ(百万米ドル)	-	7,630	+ 7,630
TAL(百万豪ドル)	3,166	3,390	+ 223
<b>連結経常利益</b>	<b>4,068</b>	<b>3,690</b>	<b>△ 378</b>
第一生命単体	4,087	3,010	△ 1,077
第一フロンティア	△ 197	140	+ 337
プロテクティブ(百万米ドル)	-	340	+ 340
TAL(百万豪ドル)	184	150	△ 34
<b>連結純利益<sup>(1)</sup></b>	<b>1,424</b>	<b>1,610</b>	<b>+ 185</b>
第一生命単体	1,521	1,190	△ 331
第一フロンティア	△ 219	110	+ 329
プロテクティブ(百万米ドル)	-	230	+ 230
TAL(百万豪ドル)	131	100	△ 31
<b>1株当たり配当金</b>	<b>28円</b>	<b>35円</b>	<b>+7円</b>

(1) 連結純利益は、親会社株主に帰属する当期純利益を記載しています。

(参考: 基礎利益)

第一生命グループ	4,720	5,100程度	+379
第一生命単体	4,582	4,400程度	△ 182

## ■ グループEEVは増加し、約5兆7,800億円に

- 金利の更なる低下を受け第一生命の保有契約価値が減少するも、修正純資産は増加し、EEVが増加
- グローバルな事業分散により、グループEEVが増加

### 第一生命グループのEEV(試算値)

(億円)

	15/9末	15/12末	増減
EEV	56,265	約57,800	約+1,500
修正純資産	50,151	約54,700	約+4,600
保有契約価値	6,113	約3,000	約△3,100

### 第一生命単体(試算値)

(億円)

	15/9末	15/12末	増減
EEV	54,898	約56,200	約+1,300
修正純資産	52,830	約57,300	約+4,500
保有契約価値	2,067	約△1,100	約△3,200

### 第一フロンティア生命(試算値)

(億円)

	15/9末	15/12末	増減
EEV	2,661	約2,800	約+200
修正純資産	1,491	約1,400	約△100
保有契約価値	1,169	約1,400	約+200

## プロテクティブ(試算値)

(億円)

	15/6末	15/9末	増減
EEV	5,598	約5,500	約△100
修正純資産	3,794	約3,900	約+100
保有契約価値	1,804	約1,600	約△200

15/6末EEV: 15/6末の為替レート(1米ドル=122.45円)を使用

15/9末EEV: 15/9末の為替レート(1米ドル=119.96円)を使用

## プロテクティブ(米ドルベース、試算値)

(百万米ドル)

	15/6末	15/9末	増減
EEV	4,572	約4,600	約△0
修正純資産	3,098	約3,300	約+200
保有契約価値	1,473	約1,300	約△200

## TAL(試算値)

(億円)

	15/9末	15/12末	増減
EEV	2,281	約2,500	約+200
修正純資産	1,210	約1,400	約+200
保有契約価値	1,070	約1,200	約+100

15/9末EEV: 15/9末の為替レート(1豪ドル=84.06円)を使用

15/12末EEV: 15/12末の為替レート(1豪ドル=87.92円)を使用

## TAL(豪ドルベース、試算値)

(百万豪ドル)

	15/9末	15/12末	増減
EEV	2,713	約2,900	約+200
修正純資産	1,439	約1,500	約+100
保有契約価値	1,273	約1,300	約+100

# 参考データ

## 損益計算書<sup>(1)</sup>

(億円)

	15/3期 3Q累計	16/3期 3Q累計	増減
経常収益	34,588	31,038	△3,550
保険料等収入	23,166	21,009	△2,157
資産運用収益	8,852	7,786	△1,065
うち利息・配当金等収入	5,898	5,891	△6
うち有価証券売却益	1,314	1,517	+203
うち特別勘定資産運用益	1,465	54	△1,410
その他経常収益	2,569	2,242	△327
経常費用	31,785	28,671	△3,114
うち保険金等支払金	19,797	20,060	+263
うち責任準備金等繰入額	4,800	1,318	△3,481
うち資産運用費用	1,201	1,796	+595
うち有価証券売却損	200	432	+232
うち有価証券評価損	5	13	+7
うち金融派生商品費用	261	445	+183
うち事業費	2,926	2,959	+33
経常利益	2,803	2,367	△436
特別利益	29	2	△27
特別損失	183	154	△28
契約者配当準備金繰入額	784	722	△61
税引前純利益	1,865	1,492	△373
法人税等合計	551	436	△115
純利益	1,313	1,055	△257

## 貸借対照表

(億円)

	15/3末	15/12末	増減
資産の部合計	368,287	364,097	△4,190
うち現預金・コール	10,187	8,112	△2,075
うち買入金銭債権	2,597	2,405	△191
うち有価証券	306,733	306,659	△73
うち貸付金	30,292	28,598	△1,694
うち有形固定資産	12,032	11,949	△82
負債の部合計	332,774	331,589	△1,184
うち保険契約準備金	304,496	305,610	+1,114
うち責任準備金	298,409	299,593	+1,184
うち危険準備金	5,580	5,715	+135
うち退職給付引当金	3,894	3,874	△20
うち価格変動準備金	1,324	1,444	+120
うち繰延税金負債	4,138	2,435	△1,702
純資産の部合計	35,513	32,507	△3,006
うち株主資本合計	11,073	11,677	+603
うち評価・換算差額等合計	24,432	20,820	△3,611
うちその他有価証券評価差額金	24,886	21,259	△3,626
うち土地再評価差額金	△334	△350	△16

(1) 特別勘定資産運用損益は、責任準備金の戻入れ/繰入れで相殺されるため、経常利益に影響するものではありません

損益計算書

(億円)

	15/3期 3Q累計	16/3期 3Q累計	増減
経常収益	16,877	15,203	△1,674
うち保険料等収入	14,185	14,517	+332
うち資産運用収益	2,692	685	△2,007
経常費用	16,953	14,704	△2,248
うち保険金等支払金	3,677	3,942	+265
うち責任準備金等繰入額	12,421	8,505	△3,915
うち資産運用費用	71	1,427	+1,355
うち事業費	703	743	+39
経常利益(△は損失)	△75	498	+573
特別損益	△14	△20	△6
税引前純利益(△は損失)	△89	477	+566
法人税等合計	0	43	+42
純利益(△は損失)	△90	434	+524

貸借対照表

(億円)

	15/3末	15/12末	増減
資産の部合計	49,372	58,406	+9,033
うち現預金・コール	813	1,065	+252
うち有価証券	47,154	55,891	+8,737
負債の部合計	48,798	57,508	+8,709
うち保険契約準備金	48,116	56,621	+8,505
うち責任準備金	48,070	56,562	+8,491
うち危険準備金	1,203	1,149	△53
純資産の部合計	574	898	+324
うち株主資本合計	184	618	+434
資本金	1,175	1,175	-
資本剰余金	675	675	-
利益剰余金	△1,665	△1,231	+434

## 損益計算書 (1)(2)

(百万米ドル)

	16/3期 3Q累計
経常収益	4,910
保険料等収入	3,373
資産運用収益	1,247
その他経常収益	289
経常費用	4,633
保険金等支払金	2,910
責任準備金等繰入額	464
資産運用費用	605
事業費	498
その他経常費用	155
経常利益	276
法人税等合計	89
純利益	187

## 貸借対照表 (1)(2)

(百万米ドル)

	15/2/1	15/9末	増減
資産の部合計	70,966	68,628	△2,338
うち現預金	463	664	+201
うち有価証券	53,287	50,668	△2,618
うち貸付金	7,333	7,438	+104
うち有形固定資産	111	111	△0
うち無形固定資産	2,712	2,668	△44
うち のれん	735	735	-
うち その他の無形固定資産	1,959	1,916	△43
うち再保険貸	202	160	△42
負債の部合計	65,412	63,823	△1,589
うち保険契約準備金	58,844	57,601	△1,243
うち再保険借	252	239	△12
うち社債	2,311	2,232	△78
うちその他負債	2,338	2,504	+165
純資産の部合計	5,554	4,805	△748
うち株主資本合計	5,554	5,741	+187
うちその他の包括利益累計額合計	-	△935	△935

(1) 米国の会計基準で作成した財務諸表を、当社の開示基準に準じて組み替えた上で開示しております。

(2) 米プロテクトティブの決算日は12月31日です。16/3期3Qの実績は、子会社化(2015年2月1日)以降、同年9月までの8ヶ月間の実績です。

損益計算書 (1)(2)

(百万豪ドル)

	15/3期 3Q累計	16/3期 3Q累計	増減
経常収益	2,362	2,378	+15
保険料等収入	2,067	2,229	+161
資産運用収益	193	21	△171
その他経常収益	101	127	+26
経常費用	2,212	2,249	+37
保険金等支払金	1,355	1,440	+84
責任準備金等繰入額	313	220	△92
資産運用費用	28	47	+19
事業費	433	459	+26
その他経常費用	81	81	△0
経常利益	150	128	△21
法人税等合計	40	29	△11
純利益	109	99	△10
修正利益 (Underlying profit)	116	140	+24

貸借対照表 (1)(2)

(百万豪ドル)

	15/3末	15/12末	増減
資産の部合計	6,674	6,978	+303
現預金	924	1,240	+316
有価証券	3,070	2,900	△169
有形固定資産	1	0	△0
無形固定資産	1,235	1,214	△21
のれん	786	786	-
その他無形固定資産	449	427	△21
再保険貸	116	132	+16
その他資産	1,326	1,489	+163
負債の部合計	4,641	4,845	+203
保険契約準備金	3,340	3,465	+125
再保険借	335	338	+3
その他負債	859	951	+92
繰延税金負債	106	89	△16
純資産の部合計	2,033	2,132	+99
株主資本合計	2,033	2,132	+99
資本金	1,630	1,630	-
利益剰余金	402	502	+99

(1) 連結対象の豪持株会社(TAL Dai-ichi Life Australia Pty Ltd)に係る数値

(2) オーストラリアの会計基準で作成した財務諸表を、当社の開示基準に準じて組み替えた上で開示しております(修正利益を除く)

	感応度 <sup>(1)</sup>	含み損益ゼロ水準 <sup>(2)</sup>
国内株式	日経平均株価 1,000円の変動で 1,700億円の増減 (2015年3月末:1,700億円)	日経平均株価 ¥9,300 (2015年3月末:¥8,900)
国内債券	10年国債利回り 10bpの変動で 2,600億円の増減※ (2015年3月末:2,600億円)  ※その他有価証券区分:300億円の増減 (2015年3月末:300億円)	10年国債利回り 1.2% ※ (2015年3月末:1.2%)  ※その他有価証券区分:1.4% (2015年3月末:1.4%)
外国証券	ドル/円 1円の変動で 280億円の増減 (2015年3月末:310億円)	ドル/円 \$1 = ¥104 (2015年3月末:¥100)

(1) 各指標に対応する資産の時価総額の感応度

(2) 各指標に対応する資産の含み損益がゼロとなる水準。外国証券はドル円換算にて算出した、為替要因のみの含み損益がゼロになる水準

## 免責事項

本プレゼンテーション資料の作成にあたり、第一生命保険株式会社(以下「当社」という。)は当社が入手可能なあらゆる情報の正確性や完全性に依拠し、それを前提としていますが、その正確性または完全性について、当社は何ら表明または保証するものではありません。本プレゼンテーション資料に記載された情報は、事前に通知することなく変更されることがあります。本プレゼンテーション資料およびその記載内容について、当社の書面による事前の同意なしに、第三者が公開または利用することはできません。

将来の業績に関して本プレゼンテーション資料に記載された記述は、将来予想に関する記述です。将来予想に関する記述には、これに限りませんが「信じる」、「予期する」、「計画」、「戦略」、「期待する」、「予想する」、「予測する」または「可能性」や将来の事業活動、業績、出来事や状況を説明するその他類似した表現を含みます。将来予想に関する記述は、現在入手可能な情報をもとにした当社の経営陣の判断に基づいています。そのため、これらの将来に関する記述は、様々なリスクや不確定要素に左右され、実際の業績は将来に関する記述に明示または黙示された予想とは大幅に異なる場合があります。したがって、将来予想に関する記述に依拠することのないようご注意ください。新たな情報、将来の出来事やその他の発見に照らして、将来予想に関する記述を変更または訂正する一切の義務を当社は負いません。

2016年3月期第3四半期報告 財務・業績の概況

契約の状況等

		2016年3月期			2015年3月期	2015年3月期
		第3四半期	前年同期比	前年度末比	第3四半期	第3四半期
新契約年換算保険料(グループ)	(百万円)	294,005	+20.3	-	244,375	339,191
うち第一生命分	(百万円)	99,190	0.9	-	100,106	145,598
うち第三分野	(百万円)	38,327	+5.2	-	36,433	47,575
保有契約年換算保険料(グループ)	(百万円)	3,356,647	+25.1	+4.3	2,683,561	3,217,095
うち第一生命分	(百万円)	2,052,047	+1.5	+0.7	2,021,773	2,037,762
うち第三分野	(百万円)	571,472	+3.3	+2.7	553,088	556,198
連結保険料等収入	(百万円)	4,166,355	+5.6	-	3,946,032	5,432,717
保険料等収入(第一生命分)	(百万円)	2,100,946	9.3	-	2,316,686	3,266,361
うち個人保険分野	(百万円)	1,381,736	6.7	-	1,480,859	2,161,569
うち団体保険分野	(百万円)	690,972	14.4	-	807,460	1,069,687
新契約高(国内グループ生保合算値)	(百万円)	3,590,518	24.3	-	4,744,910	6,517,300
うち第一生命分	(百万円)	2,223,559	33.3	-	3,333,496	4,643,090
保有契約高(国内グループ生保合算値)	(百万円)	132,515,399	3.6	2.9	137,525,277	136,500,782
うち第一生命分	(百万円)	126,011,342	4.7	3.8	132,237,039	130,947,283
解約・失効高(国内グループ生保合算値)	(百万円)	4,035,264	10.3	-	4,500,356	5,929,950
うち第一生命分	(百万円)	3,848,223	10.3	-	4,290,696	5,644,818
解約・失効率(国内グループ生保合算値)	(%)	2.96	-	-	3.20	4.21
うち第一生命分	(%)	2.94	-	-	3.13	4.12

前年同期比、前年度末比は増減比率

- (注) 1. グループとは第一生命、第一フロンティア生命、ネオファースト生命、プロテクト、TAL、第一生命ベトナムの6社、国内グループ生保とは第一生命、第一フロンティア生命、ネオファースト生命の3社  
 2. プロテクト及び第一生命ベトナムの決算日は12月31日  
 3. ネオファースト生命及びプロテクトについては、完全子会社化後の実績を合算  
 ネオファースト生命:2015年3月期第2四半期以降の新契約年換算保険料(以下、新契約ANP)、保有契約年換算保険料(以下、保有契約ANP)、新契約高・保有契約高及び解約・失効高を合算  
 プロテクト:2016年3月期第1四半期以降の新契約ANP及び2015年3月期以降の保有契約ANPを合算  
 4. 新契約ANP及び保有契約ANPには、プロテクトの損害保険事業、TALの団体保険を含む  
 プロテクト:2015年3月期  
 :2016年3月期第3四半期 新契約ANP 25,823百万円(うち損害保険事業6,690百万円) 保有契約ANP 500,704百万円(うち損害保険事業24,607百万円)  
 TAL :2015年3月期第3四半期 新契約ANP 18,114百万円(うち団体保険2,314百万円) 保有契約ANP 508,651百万円(うち損害保険事業28,415百万円)  
 :2015年3月期 新契約ANP 24,167百万円(うち団体保険4,265百万円) 保有契約ANP 217,133百万円(うち団体保険127,920百万円)  
 :2016年3月期第3四半期 新契約ANP 44,446百万円(うち団体保険29,167百万円) 保有契約ANP 207,593百万円(うち団体保険122,066百万円)  
 保有契約ANP 232,266百万円(うち団体保険145,284百万円)  
 5. 保険料等収入のうち個人保険分野は個人保険+個人年金、団体保険分野は団体保険+団体年金の合計保険料(再保険収入は含まない)  
 6. 新契約高、保有契約高、解約・失効高、解約・失効率は個人保険+個人年金保険  
 7. 解約・失効は、失効後復活契約を失効と相殺せずに算出、主契約が継続している「減額」・「特約解約」は含まない  
 8. 2015年3月期までの解約・失効率は第一生命と第一フロンティア生命の合算値

資産の状況等

(連結)

		2016年3月期		2015年3月期末
		第3四半期会計期間末	前年度末比	
総資産	(億円)	501,297	+0.6	498,372
実質純資産額	(億円)	92,065	2.4	94,307
ソルベンシー・マージン比率	(%)	768.2	50.0	818.2

(注) 2016年3月期第3四半期会計期間末の実質純資産額、ソルベンシー・マージン比率については、法令等の規定に準じて、当社が妥当と考える手法により算出

前年度末比は増減比率(ソルベンシー・マージン比率は増減ポイント)

(第一生命単体)

		2016年3月期		2015年3月期末
		第3四半期会計期間末	前年度末比	
総資産	(億円)	364,097	1.1	368,287
実質純資産額	(億円)	90,221	0.9	91,012
実質純資産額/一般勘定資産	(%)	25.5	-	25.5
ソルベンシー・マージン比率	(%)	874.9	38.3	913.2

(注) 2016年3月期第3四半期会計期間末の実質純資産額、ソルベンシー・マージン比率については、法令等の規定に準じて、当社が妥当と考える手法により算出

前年度末比は増減比率(ソルベンシー・マージン比率は増減ポイント)

基礎利益

		2016年3月期		2015年3月期	2015年3月期
		第3四半期累計期間	前年同期比	第3四半期累計期間	第3四半期
グループ基礎利益	(百万円)	419,261	+22.7	341,743	472,001
うち国内グループ生保合算値	(百万円)	364,576	+11.9	325,929	452,473
うち第一生命	(百万円)	331,855	+3.0	322,098	458,242
うち第一フロンティア生命	(百万円)	38,091	+973.2	3,549	6,310
うちネオファースト生命	(百万円)	5,370	-	282	541

(注) 1. グループ基礎利益には国内グループ生保の基礎利益、プロテクトのOperating Income、TALのUnderlying Profit(税引前換算)、

前年同期比は増減比率

第一生命ベトナムの税引前四半期純利益を合算し、第一生命グループ内の内部取引の一部を相殺した数値を掲載

2. ネオファースト生命については、2014年7月以降の実績を掲載、前年同期比は非掲載

基礎利益の内訳  
(国内グループ生保合算値)

	(百万円)	2016年3月期		2015年3月期	2015年3月期
		第3四半期累計期間	前年同期比	第3四半期累計期間	
基礎利益		364,576	+11.9	325,929	452,473
うち最低保証に係る責任準備金等の増減による影響		3,598	-	29,261	48,245
うち基礎利益(最低保証に係る責任準備金等の増減による影響を除く)		360,978	+1.6	355,191	500,718

(注) 1. ネオファースト生命については、2014年7月以降の実績  
2. 最低保証に係る責任準備金等の増減による影響とは、最低保証に係る責任準備金の増減による影響と、市場価格調整に伴う責任準備金の増減による影響を合算した数値  
(最低保証に係る責任準備金等を繰り入れた場合は基礎利益を減少させる要因になり、戻し入れた場合は基礎利益を増加させる要因になる)

前年同期比は増減比率

(第一生命単体)

	(百万円)	2016年3月期		2015年3月期	2015年3月期
		第3四半期累計期間	前年同期比	第3四半期累計期間	
基礎利益		331,855	+3.0	322,098	458,242
うち最低保証に係る責任準備金等の増減による影響		469	46.1	870	1,073
うち基礎利益(最低保証に係る責任準備金等の増減による影響を除く)		331,386	+3.2	321,227	457,169

前年同期比は増減比率

準備金

	(百万円)	2016年3月期		2015年3月期末	
		第3四半期会計期間末	前年度末比		
責任準備金(除く危険準備金)		29,387,796	+104,915	29,282,880	
うち一般勘定(除く危険準備金)		28,288,929	+234,152	28,054,776	
うち特別勘定(除く危険準備金)		1,098,867	129,236	1,228,103	
価格変動準備金		144,453	+12,000	132,453	
危険準備金		571,593	+13,500	558,093	
危険準備積立金		43,120	-	43,120	
価格変動積立金		65,000	-	65,000	

(注) 第一生命の実績を掲載

前年度末比は増減額

含み損益

	(百万円)	2016年3月期		2015年3月期末	
		第3四半期会計期間末	前年度末比		
有価証券		5,248,050	243,658	5,491,709	
うち国内株式		1,742,799	42,871	1,785,671	
うち国内債券		2,546,498	+309,653	2,236,845	
うち外国証券		916,363	484,526	1,400,889	
不動産		97,364	+21,781	75,583	
その他共計		5,332,189	218,519	5,550,709	

(注) 1. 不動産の含み損益は国内不動産(含む借地権)を対象とし、再評価前の水準

2. 第一生命の実績を掲載

前年度末比は増減額

資産の含み損益がゼロになる水準

		2015年12月末時点
国内株式(日経平均)	(円)	9,300
国内株式(TOPIX)	(株)	750
国内債券	(%)	1.2
外国証券	(円)	104

(注) 1. 株式は日経平均およびTOPIXに連動させ、株式の評価基準にあわせて算出

2. 国内債券は10年新築国債利回りで換算し、小数点第一位まで算出

3. 外国証券はドル円換算にて算出

4. 第一生命の水準を掲載

金融機関窓販の状況(第一生命と第一フロンティア生命の合算値)

		2016年3月期		2015年3月期	2015年3月期	
		第3四半期累計期間	前年同期比	第3四半期累計期間		
変額年金保険	新契約件数	(件)	106,941	13.8	124,101	167,173
	金額(収入保険料)	(百万円)	630,799	11.9	716,376	981,091
定額年金保険	新契約件数	(件)	9,399	37.9	15,133	18,765
	金額(収入保険料)	(百万円)	44,745	36.3	70,277	87,879

(注) 金融機関とは銀行、証券会社、信託銀行、信用金庫

前年同期比は増減比率

		2016年3月期		2015年3月期	2015年3月期	
		第3四半期累計期間	前年同期比	第3四半期累計期間		
変額一時払 終身保険	新契約件数	(件)	27,726	+35,907.8	77	563
	金額(収入保険料)	(百万円)	196,177	+19,846.9	983	8,402
定額一時払 終身保険	新契約件数	(件)	57,460	13.1	66,107	84,107
	金額(収入保険料)	(百万円)	420,462	13.6	486,633	629,961

(注) 金融機関とは銀行、証券会社、信託銀行、信用金庫

前年同期比は増減比率